

2012年12月期 第2四半期 決算説明会

2012年8月10日
JUKI株式会社
取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2012年12月期(2012年度)上期(1-6月)業績の概要

1. 業績推移および配当	3
2. 経常利益増減要因	4
3. 主要財務項目推移	5
4. セグメント別業績推移	6

第2部 2012年12月期(2012年度)通期(1-12月)業績予想と下期重点施策

1. 環境認識	10
2. 経営方針と重点施策	11
3. 2012年度の通期業績予想	12
4. 経常利益増減要因	13
5. 重点施策	14

第1部
2012年12月期(2012年度)上期
業績の概要

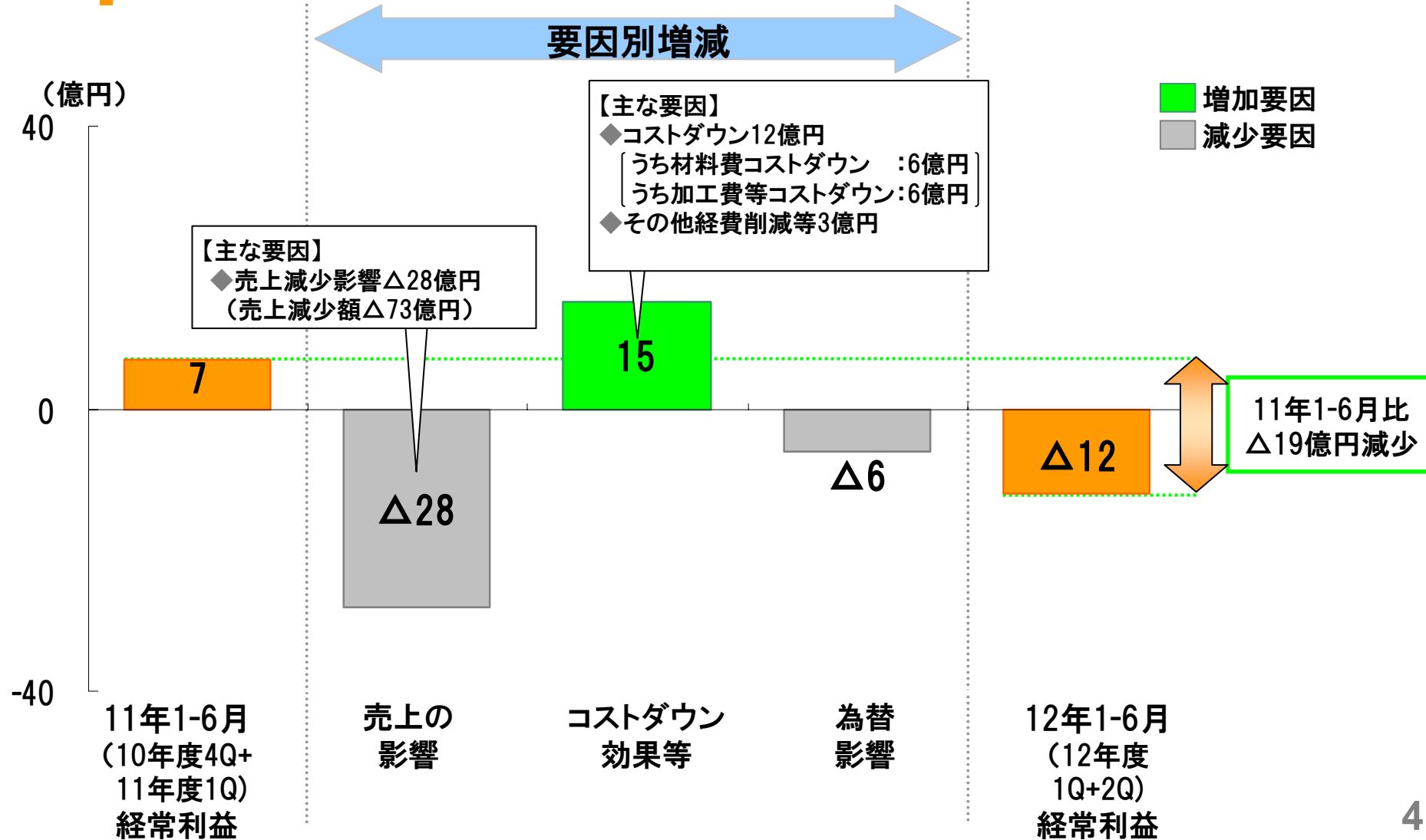
売上高は、中国及び欧州市場での需要の低迷などの影響があり、前年同期比16%の減収。営業・経常・当期純利益とも赤字となった

(百万円)

決算期変更のため9ヶ月決算

	11/3期(10年度)		11/12期(11年度)				12/12期(12年度)	前年同期	前年同期比増減額 [A-B] (増減率)
	上期	下期	11/12期(11年度)			1Q+2Q (1-6月) [A]	11年1-6月		
			上期	下期	下期			10年度4Q+ 11年度1Q ①+② [B]	
		うち4Q (11年1-3月) ①	1Q (11年4-6月) ②	2Q (11年7-9月)	3Q (11年10-12月)				
売上高	43,363	46,233	23,322	22,504	20,966	21,856	38,492	45,826	△7,334 (△16.0%)
営業利益	151	634	365	287	304	224	△663	652	△1,315
経常利益	278	896	310	365	846	163	△1,226	675	△1,901
当期純利益	640	1,827	1,354	445	279	2	△1,199	1,799	△2,998
配当	0円/株	3円/株	—	—	—	3円/株	0円/株	—	—
為替 レート	ドル ユーロ	87円 112円	81円 111円		(上期平均) 79円 114円	78円 105円	79円 103円	81円 115円	△2円 △12円

コストダウン効果は15億円あったが、売上減少の影響により大幅減益



仕入債務の減少を主因とした運転資金の増加約8億円及び当期純利益12億円のマイナスにより、有利子負債が約19億円増加 (百万円)

	11/3期末 (10年度末)	11/12期末 (11年度末) [A]	12/6期末 (12年度 上期末)[B]	増減額 [B-A]
総資産	106,593	114,263	109,834	△4,428
純資産	11,549	12,361	10,545	※△1,816
自己資本比率	10.6%	10.6%	9.4%	△1.2%
売上債権	17,357	20,978	18,504	△2,474
在庫	36,240	42,151	41,258	△893
仕入債務	14,836	14,427	10,265	△4,162
有利子負債	63,698	73,829	75,712	1,882

※【純資産の減少額△18.1億円の主要内訳】

利益剰余金△18.1億円、為替換算調整勘定△0.7億円、
有価証券評価額+1.0億円

縫製機器: 中国において産地移転等により設備需要が低迷し大幅減少

産業装置: アジア地域での売上は増加したが、中国や欧州などでの落ち込みが影響

決算期変更のため9ヶ月決算

(百万円)

	11/3期(10年度)			11/12期(11年度)			12/12期 (12年度)	前年同期	前年同期比 増減額 [A-B] (増減率)
	上期	下期		上期		下期	上期	11年1-6月	
		うち4Q (11年1-3月) ①	1Q (11年4-6月) ②	2Q (11年7-9月)	3Q (11年10-12月)	1Q+2Q (1-6月) [A]		10年度4Q+ 11年度1Q ①+② [B]	
縫製機器	28,155	32,112	16,809	14,658	13,306	14,496	25,262	31,467	△6,205 (△19.7%)
産業装置	11,969	10,468	4,643	5,960	5,786	5,464	9,704	10,603	△899 (△8.5%)
その他	3,238	3,653	1,869	1,885	1,874	1,896	3,524	3,754	△230 (△6.1%)
合計	43,363	46,233	23,322	22,504	20,966	21,856	38,492	45,826	△7,334 (△16.0%)

縫製機器は、売上の減少により大幅減益

決算期変更のため9ヶ月決算

(百万円)

	11/3期(10年度)			11/12期(11年度)			12/12期 (12年度)	前年同期	前年同期比 増減額 [A-B]
	上期	下期		上期		下期	上期	11年1-6月	
		うち4Q (11年1-3月) ①	1Q (11年4-6月) ②	2Q (11年7-9月)	3Q (11年10-12月)				
縫製機器	644	1,044	716	454	997	650	△615	1,170	△1,785
産業装置	442	309	266	213	195	119	△275	479	△754
その他	289	△230	△518	149	37	144	219	△369	588
調整額	△1,098	△226	△154	△451	△384	△749	△555	△605	50
合計	278	896	310	365	846	163	△1,226	675	△1,901

【縫製機器】

※工業用マシン[製品]売上高

(億円)

	12/12期 (12年度)	前年同期	前年同期比 増減額 [A-B] (増減率)
	上期	10年度4Q+ 11年度1Q (11年1-6月) [B]	
	1Q+2Q (12年1-6月) [A]		
中国	68	113	△45 (△40%)
アジア	79	96	△17 (△18%)
日本	18	15	3 (20%)
欧州	25	26	△1 (△4%)
米州	19	21	△2 (△10%)
合計	209	271	△62 (△23%)

【産業装置】

(億円)

	12/12期 (12年度)	前年同期	前年同期比 増減額 [A-B] (増減率)
	上期	10年度4Q+ 11年度1Q (11年1-6月) [B]	
	1Q+2Q (12年1-6月) [A]		
中国	45	63	△18 (△29%)
アジア	17	4	13 (325%)
日本	9	13	△4 (△31%)
欧州	10	13	△3 (△23%)
米州	16	13	3 (23%)
合計	97	106	△9 (△9%)

第2部
2012年12月期(2012年度)
通期業績予想と重点施策

1. 世界経済

- ◆ 欧州の財政危機は依然不透明で、世界経済は不安定
- ◆ 中国の金融引き締めは緩和基調だが、市場への影響はまだ見込めない
- ◆ 円高の水準(ドル=79円前後、ユーロ=95円前後)は、当面続く

2. 市場環境

- ◆ 中国の産業構造変化(人件費の高騰、労働人口の減少等)
- ◆ 中国のアパレル等の労働集約型「軽工業」は東南アジア等への移転が加速

3. 競争環境

- ◆ 中国・台湾等のライバル企業との競争環境は厳しい

5つの経営方針

- 「営業の強化」と「コストダウンの強化」
- 事業領域の拡大
- グローバルな生産戦略の推進
- 開発部門の業務改革
- 管理部門の業務改革

3つの重点施策

(1)新しいお客様づくり

- ◆ 未開拓・未攻略市場でソリューション営業を徹底し、新しいお客様を増やす

(2)新製品の投入

- ◆ 他社と差別化できる新製品開発とタイムリーな市場投入

(3)更なるコストダウンの推進

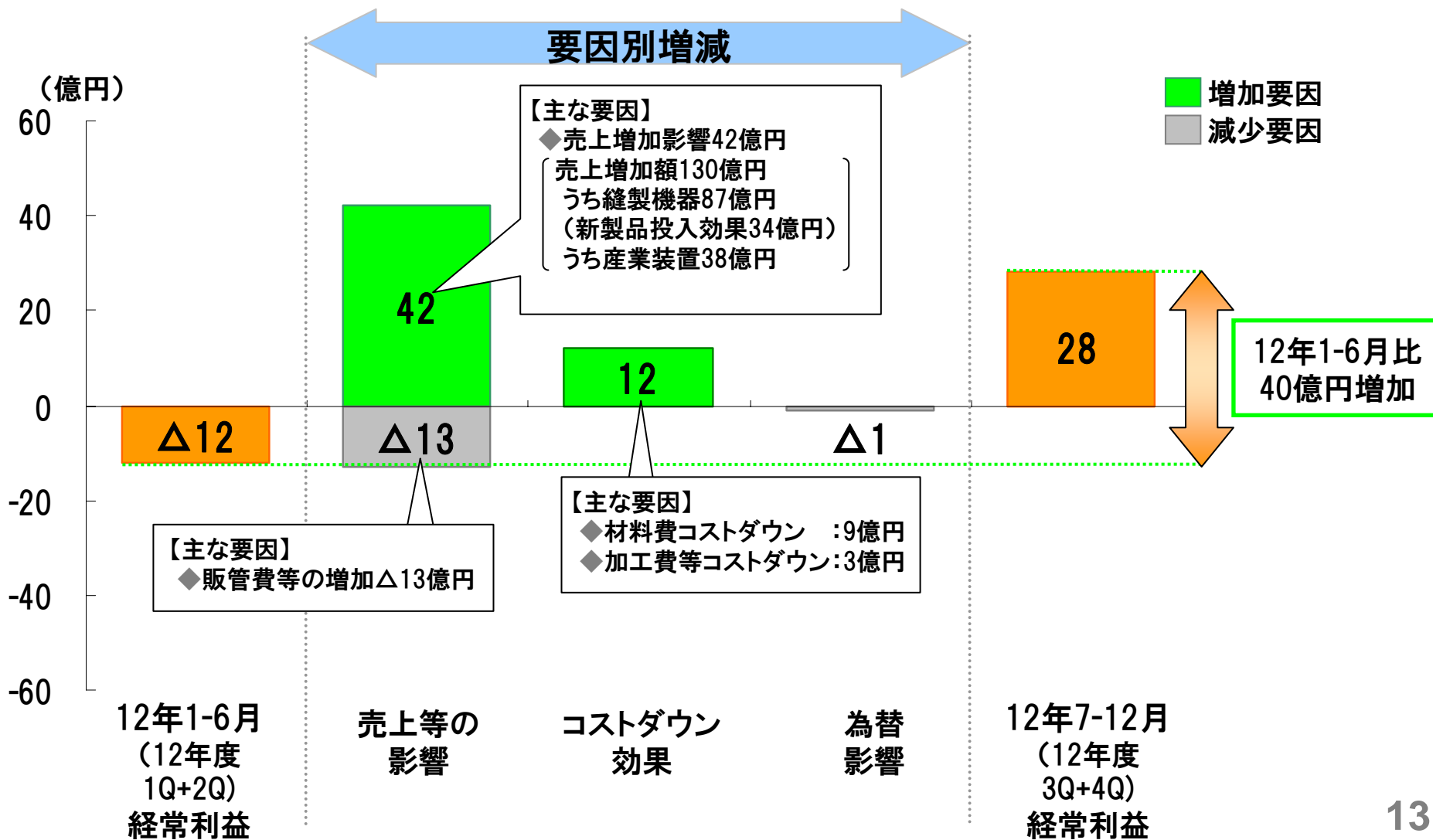
- ◆ トータルコストダウンの加速と製品ごとのコストダウンプロジェクトの展開

(億円)

	2012年度上期 (1-6月)	2012年度下期 (7-12月)	2012年度通期 業績予想
売上高	385	515	900
うち縫製機器	253	340	593
うち産業装置	97	135	232
営業利益	△7	33	26
経常利益	△12	28	16
当期純利益	△12	23	11
配当	0円/株	—	3円/株

為替レート	ドル 79円 ユーロ 103円	ドル 79円 ユーロ 95円
-------	--------------------	-------------------

売上増加及びコストダウン効果により、40億円の増益



1-(1)縫製機器

■新しいお客様づくりの競争に勝つ

⇒お客様のニーズに対応するソリューション営業の徹底

(1)未開拓市場への営業の徹底

- ◆成長市場(カンボジア、ミャンマー等)の取り込み
- ◆エントリー市場の営業強化:中国内陸部、インド、ロシア、中南米等

(2)未攻略市場への営業の徹底

- ◆ノンアパレル(自動車・シューズ等)、ニットを中心とした他社ユーザーの攻略

(3)戦略的な新製品の投入

- ◆マーケット戦略に合わせた戦略的な新製品の投入(全機種群で13機種)

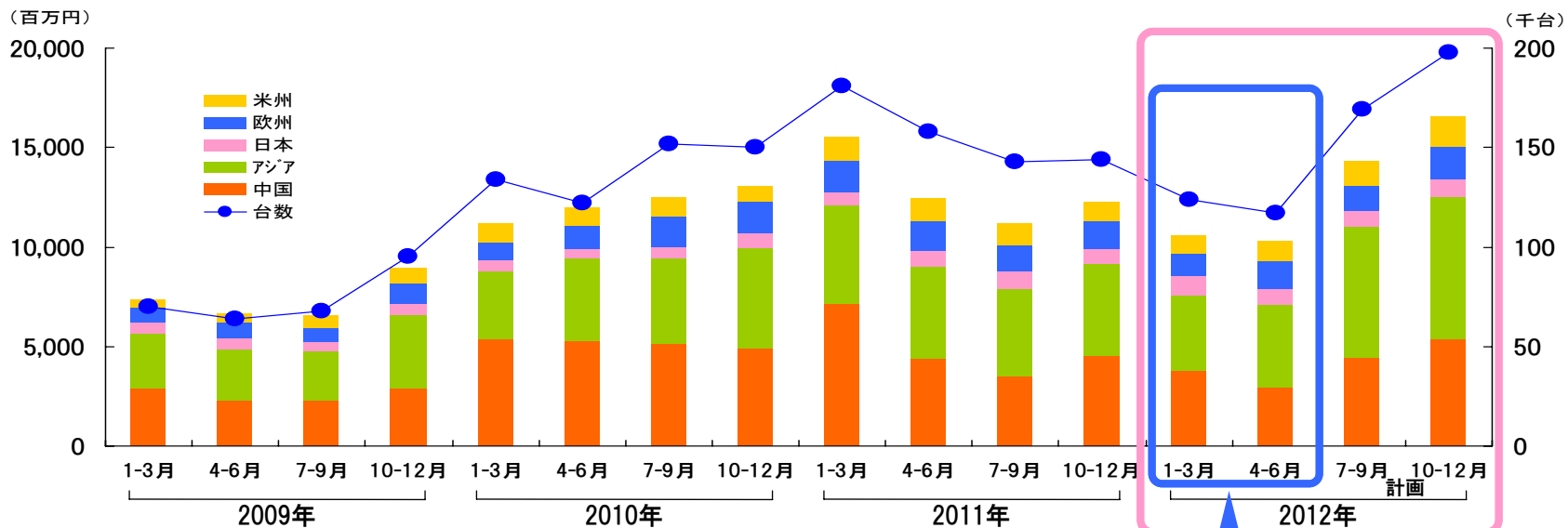
(4)大手ユーザー開発案件の取り組み強化

(5)ボーダーレスで産地移転するグローバル企業の攻略

- ◆ベトナム、インドネシア、カンボジア、ミャンマーへの移転をフォローアップ

12年度4-6月は、アジアで販売が拡大

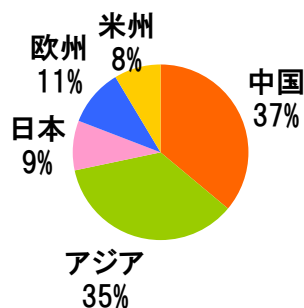
【縫製機器：工業用ミシン地域別[製品]売上高推移】



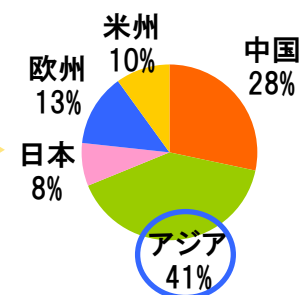
【販売台数】12年度4-6月(1-3月対比)

地域	増減率
中国	△31%
アジア	10%
日本	△12%
欧州	49%
米州	8%
全体	△5%

【売上高比率】
2012年1-3月

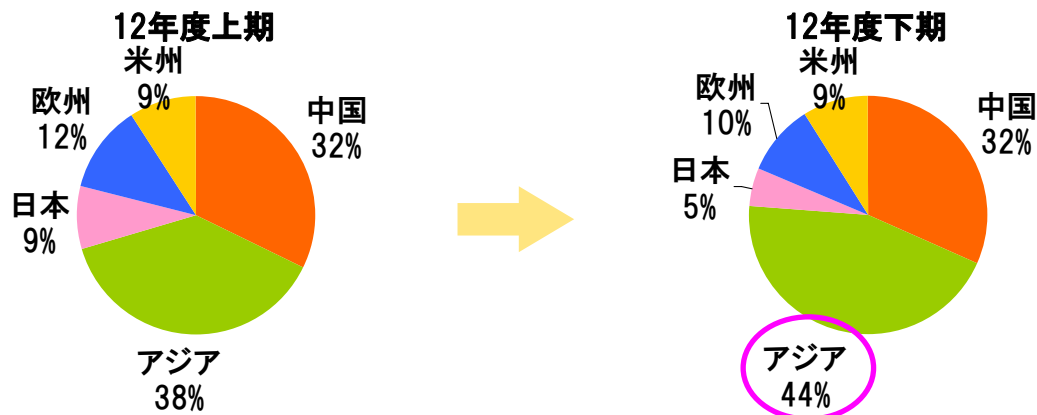


2012年4-6月



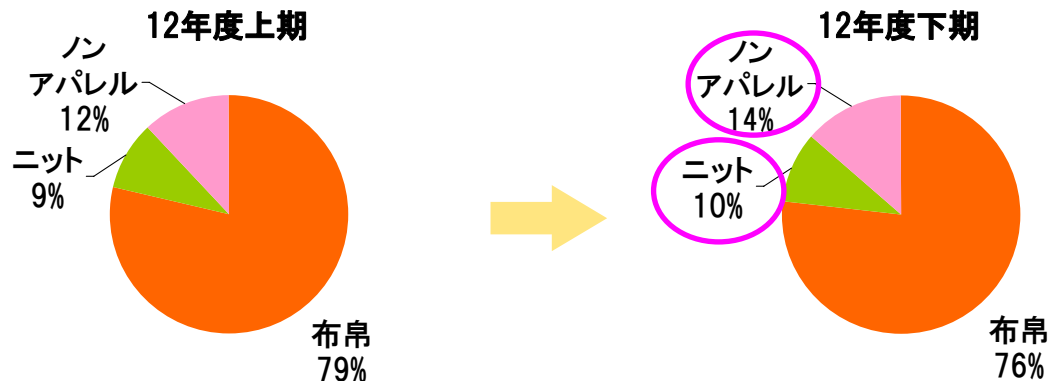
未開拓・未攻略市場への営業を徹底し、アジアで販売拡大

[売上高比率(地域別:工業用ミシン[製品])]



ノンアパレル・ニットの販売拡大に注力⇒他社ユーザーの攻略

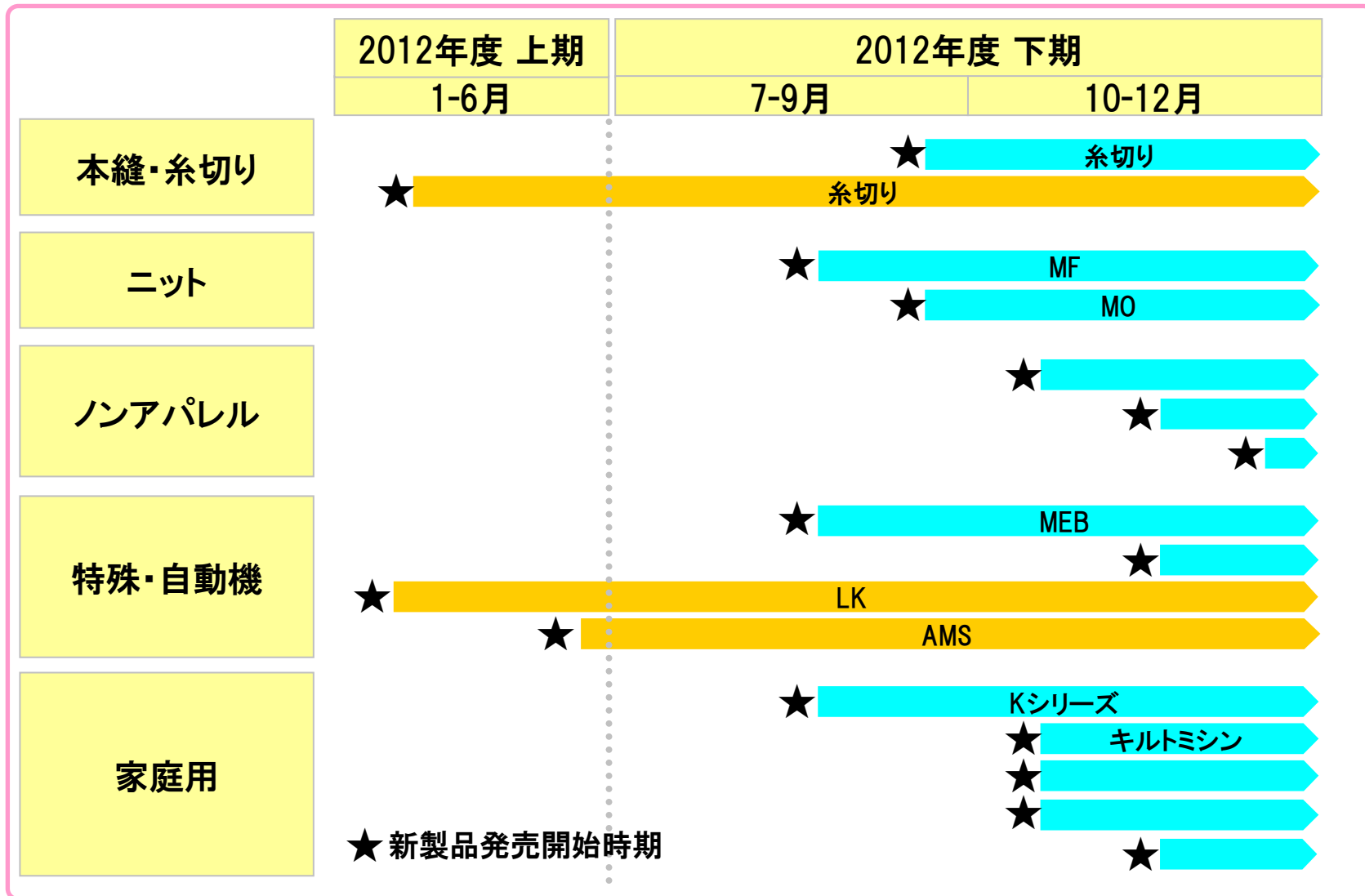
[売上高比率(市場別:工業用ミシン[製品])]



【戦略的な新製品の投入】 ➡ 下期に山場を迎える

13機種投入

売上寄与額34億円



1-(2)産業装置

■新しいお客様づくりのスピードを上げる

(1)大手顧客の攻略

- ◆高速機でのシェアアップ:高速電動生産ライン提案による販売拡大
- ◆グローバル営業による販売拡大
 - ①日系・台湾系・中国系大手企業の攻略
 - ②グローバル企業の南米や東欧等への進出をフォローアップ
- ◆個別のエリア戦略:タイ、インドネシア、韓国、インド、南米等重要エリアを設定し、営業をさらに強化

(2)ローカルのお客様の攻略

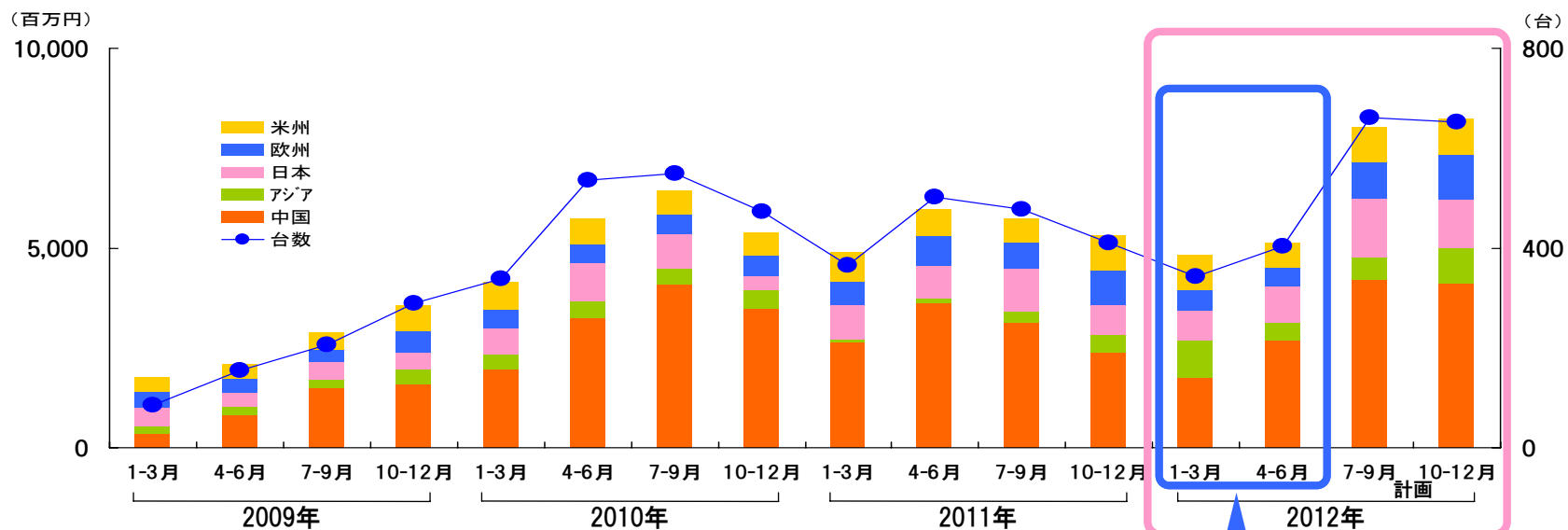
- ◆代理店を活用し活動を強化する

(3)事業領域の拡大

- ◆お客様の工場の「省力化」ニーズに対応

12年度4-6月は、中国で販売拡大

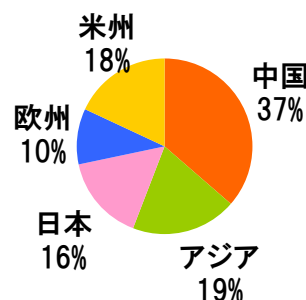
【産業装置：地域別売上高推移】



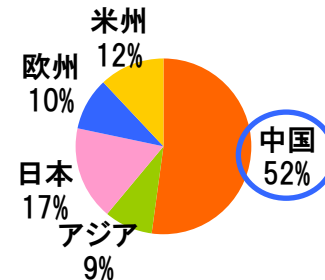
【販売台数】12年度4-6月(1-3月対比)

地域	増減率
中国	41%
アジア	△47%
日本	109%
欧州	22%
米州	△3%
全体	18%

【売上高比率】
2012年1-3月

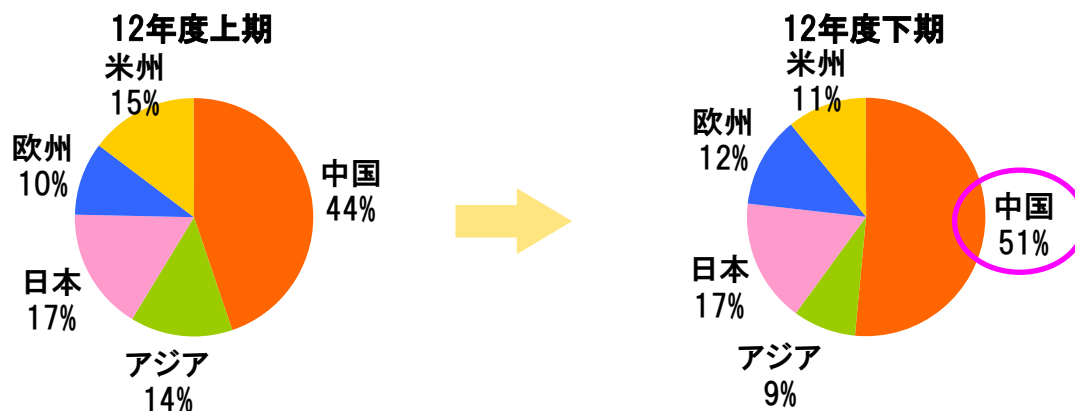


2012年4-6月



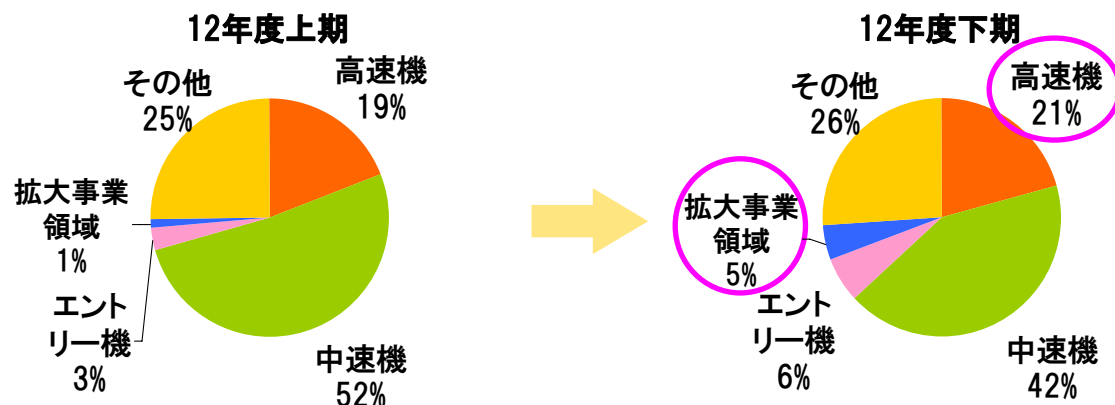
大手顧客開拓を積極的に展開し、中国で更に販売拡大

[売上高比率(地域別)]



高速機・拡大事業領域の販売拡大に注力

[売上高比率(市場別)]

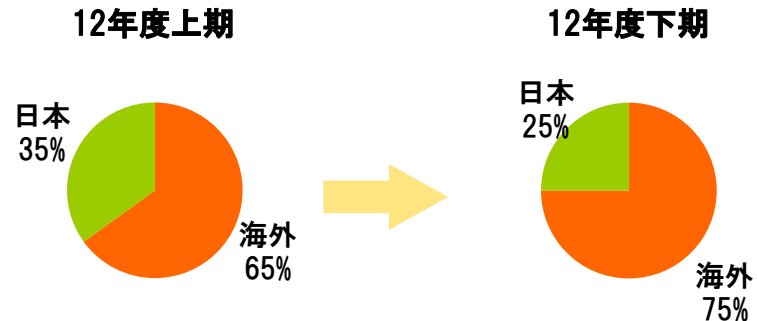


2. 生産戦略

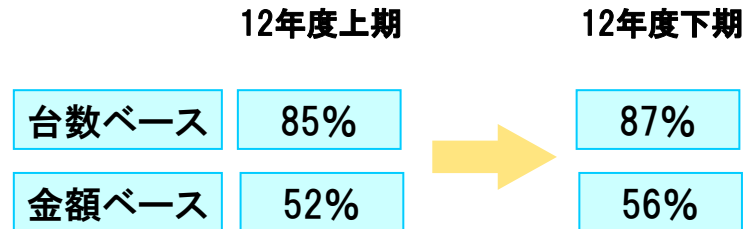
(1) 更なるコストダウン

① トータルコストダウンの推進

[部品の海外調達力強化(工業用マシン)]



[海外生産比率(工業用マシン)]



② プロジェクト対応コストダウンの推進

[産業装置コストダウンプロジェクト]

- ◆ FX-3Rのコストダウンを、設計・調達・製造が一体となって取り組み上期に完了
⇒ 原価低減率△14%

[2つのコストダウンプロジェクト]

- ◆ 縫製機器、産業装置のコストダウンプロジェクトを7月から立ち上げ

(2) 事業領域拡大と大手顧客の開発委託案件への取り組み

仕事の難易度は高いが、高い技能や工法改善等により、付加価値の高い仕事に発展



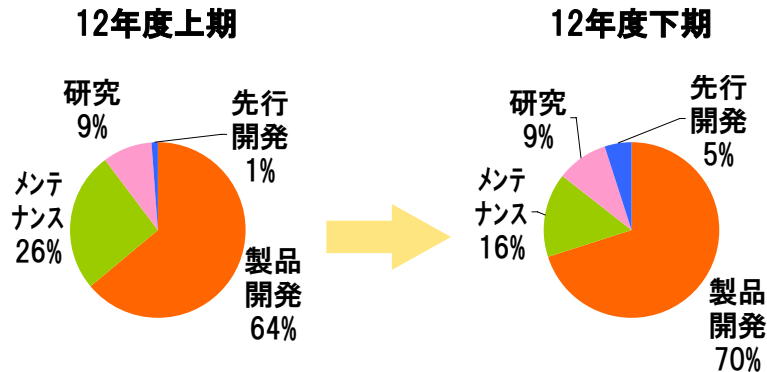
日本のものづくり力強化

3. 開発戦略

(1) 開発力の強化

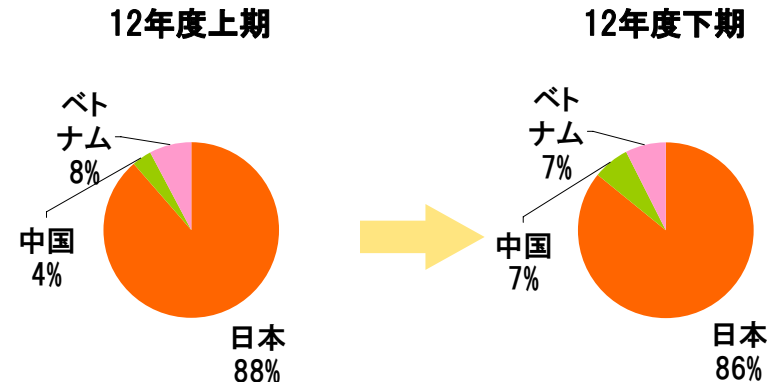
① 新製品開発力の強化

[新製品開発投資の強化]



- ◆ 下期に投入する工業用ミシンの新製品8機種のうち、5機種がノンアパレル、ニットの製品

[グローバル開発人員の増強]



- ◆ よりお客様に近いところで、お客様のニーズを取り込んだ製品開発を強化

(2) 事業領域拡大と大手顧客の開発委託案件への取り組み

顧客ニーズへの対応力を更に強化し、難易度の高い開発案件に取り組み、製品開発をスピードアップすることで、他社との差別化をはかる

4. 新規事業とアライアンス

(1) 全社的アライアンス案件の推進

- ① シークス社との製造合併事業の推進 → 上海電子工場の譲渡
↳ 海外生産拠点の機能強化
- ② SIRUBA社との資本・業務提携 ⇒ 新製品(OEM)のMO-6500Sを市場投入
- ③ 家庭用ミシンKシリーズの発売 ⇒ 新製品(ODM)の市場投入

 事業開発第二部を新設し、全社的アライアンス案件の推進を強化

(2) 新規事業推進の体制強化

- ① スリープバスターの販売拡大
 - ◆ スリープバスター事業室を設置し体制強化
- ② グループ以外の会社からの受注を新規事業として拡大
 - ◆ 新規事業グループを設置し、グループ会社と連携し、JUKIグループの事業領域を拡大

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 広報・IRグループ 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>